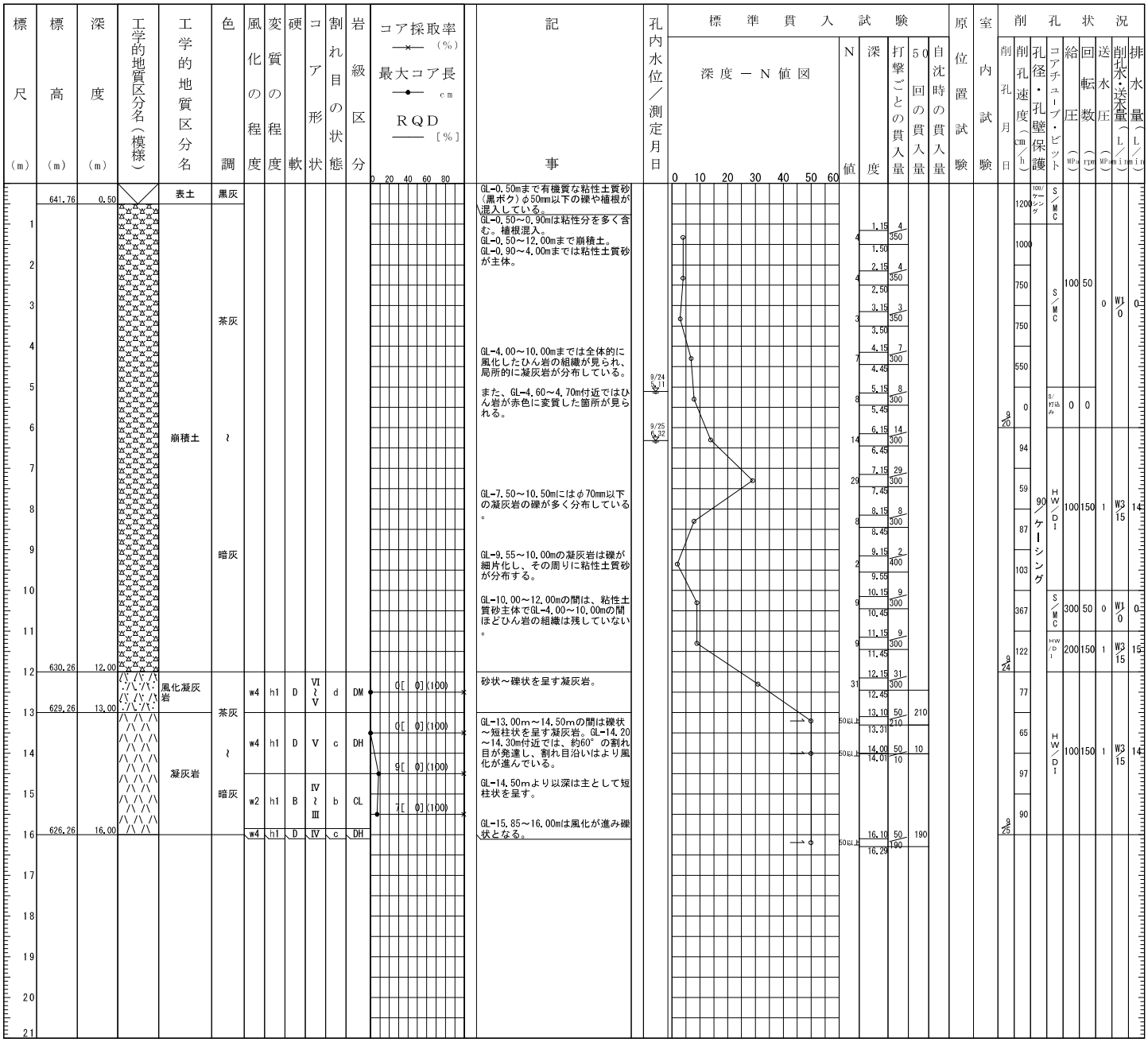
岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名	主要地方道西城比和線外測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.3	調査位置	広島県庄原市比和町三河内	北　緯	34° 58′ 09.4569″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	調査期間	平成30年 9月20日～平成30年 9月25日	東　経	133° 02′ 22.6731″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	642.26m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	18° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-05型	
総削孔長	16.00m		エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12	ポンプ GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	641.76	0.50		表土	黒灰								GL-0.50mまで有機質な粘性土質砂（黒ボク）φ50mm以下の礫や植根が混入している。											9/20	1200	100/ケーシング	S/MC					
1				崩積土	茶灰 ～ 暗灰								GL-0.50～0.90mは粘性分を多く含む。植根混入。 GL-0.50～12.00mまで崩積土。 GL-0.90～4.00mまでは粘性土質砂が主体。			4	1.15 / 1.50	4 / 350						1000							
2																4	2.15 / 2.50	4 / 350						750		S/MC	100	50	0	W1/0	0
3																3	3.15 / 3.50	3 / 350						750							
4													GL-4.00～10.00mまでは全体的に風化したひん岩の組織が見られ、局所的に凝灰岩が分布している。			7	4.15 / 4.45	7 / 300						550							
5													また、GL-4.60～4.70m付近ではひん岩が赤色に変質した箇所が見られる。	9/24 5.11		8	5.15 / 5.45	8 / 300						0		S/打込み	0	0			
6														9/25 6.32		14	6.15 / 6.45	14 / 300						94							
7																29	7.15 / 7.45	29 / 300						59							
8													GL-7.50～10.50mにはφ70mm以下の凝灰岩の礫が多く分布している。			8	8.15 / 8.45	8 / 300						87	90/ケーシング	HW/DI	100	150	1	W3/15	14
9													GL-9.55～10.00mの凝灰岩は礫が細片化し、その周りに粘性土質砂が分布する。			2	9.15 / 9.55	2 / 400						103							
10													GL-10.00～12.00mの間は、粘性土質砂主体でGL-4.00～10.00mの間ほどひん岩の組織は残していない。			9	10.15 / 10.45	9 / 300						367		S/MC	300	50	0	W1/0	0
11																9	11.15 / 11.45	9 / 300						122		HW/DI	200	150	1	W3/15	15
12	630.26	12.00		風化凝灰岩	茶灰 ～ 暗灰	w4	h1	D	VI～V	d	DM	0[0](100)	砂状～礫状を呈す凝灰岩。			31	12.15 / 12.45	31 / 300					9/24	77							
13	629.26	13.00		凝灰岩		w4	h1	D	V	c	DH	0[0](100)	GL-13.00m～14.50mの間は礫状～短柱状を呈す凝灰岩。GL-14.20～14.30m付近では、約60°の割れ目が発達し、割れ目沿いはより風化が進んでいる。			50以上	13.10 / 13.31	50 / 210	210					65							
14												9[0](100)				50以上	14.00 / 14.01	50 / 10	10					97		HW/DI	100	150	1	W3/15	14
15						w2	h1	B	IV～III	b	CL	7[0](100)	GL-14.50mより以深は主として短柱状を呈す。											90							
16	626.26	16.00				w4	h1	D	IV	c	DH		GL-15.85～16.00mは風化が進み礫状となる。			50以上	16.10 / 16.29	50 / 190	190				9/25								
17																															
18																															
19																															
20																															
21